

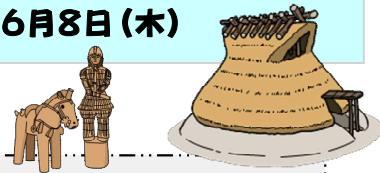


菊川市立六郷小学校

出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和5年6月8日(木)



「教科書や資料による学びでは得ることのできない実体験は、子どもたちにとって、かけがえのないものでした。」

菊川市立六郷小学校の6年生72人が、実体験を通して、教科書や資料集では学べないことに気づかせたいという先生方の願いで、発掘調査と周辺遺跡の話、土器の分類、石器の試し切り、火起こしの4つの体験を行いました。

発掘調査と 周辺遺跡の話

埋蔵文化財センターの業務内容を話しました。

その後、学校周辺にも下田遺跡など、たくさんの遺跡があることを伝えました。

「自分たちの身近にたくさん遺跡があるとわかってびっくりした。」



土器の分類体験

「特徴はわかるんだけど、実際に分類するのは難しかった。」



縄文土器、弥生土器、須恵器の3つの完形土器を見て、3種類の土器片を分類します。違いはわかるけど、微妙に違う土器片は、分けるのに苦労したようです。何千年も前の人たちが使っていたものに触れる貴重な体験でした。



石器の試し切り体験



打製石器や磨製石器などについて話し、大昔の人たちにとって、石がとても重要だったことを学びました。その後、黒曜石で物が切れるのか試しました。黒曜石の切れ味は思っていた以上に切れて、感激していました。

「思った以上に切れ味が良く、すごかった。」



火起こし体験

火起こしの歴史について簡単に話した後、舞きり法で試技をしました。子どもたちは、大変反応が良く、火がつくと大きな拍手をしてくれました。子どもたちも、班員と協力しながら弾み車を調子よく回し、火種を作ることが出来ました。ロングフーもクリアして、何とか火をつけることが出来ました。

「昔の人の知恵って、すごいと思った。火がついたときは感動した。」



先生方の感想

「教科書や資料による学びでは得ることのできない実体験は、子どもたちにとって、かけがえのないものでした。子どもたちの感想にも、『勉強になった』『楽しかった』が、とても多かったです。限られた時間の中でしたが、どの体験もとても充実していました。こちらの要求にも丁寧に応えてくださり、子どもたちの学びのため、ご尽力いただき大変感謝しています。」

